

第五地連 機関紙



東京清掃労働組合第五地連
事務局: 東京清掃労働組合葛飾支部
東京都葛飾区新富3-17-5
TEL&FAX 03-3607-7981
Email seisou-katushika@juno.ocn.ne.jp

両組織全組合員の力を結集しよう

〈退職手当削減反対〉

特区連第5ブロック・東京清掃第五地連総決起集会

区長会は1月22日、わが組合と特区連に対し、退職手当の見直し提案を行いました。内容は、基本額の引下げと調整額ポイントの改善であり、同時に組合員間に格差の拡大を持ち込もうとする極めて不当なものです。

昨秋の賃金確定闘争において、特区連・東京清掃、各区職労・清集会の前段で実施した、江東区副区長要請行動の報告を、特区連第5ブロック遠藤事務



▲ 大衆行動を全力で取り組み、交渉強化につなげよう

掃各支部の協同闘争の積み上げによって、数多くの要求実現に繋がったことから明らかのように、両組織の力の結集は区長会にとつて脅威となります。今度退職闘争においてもブロック単位で、引下げと制度改悪阻止にむけてともに闘いを進め、交渉強化に繋げることにしました。

主催者を代表して、特区連第5ブロック菊地議長(墨田区職労)から「両組織の意思統一で闘いの前進を勝ち取ろう」との挨拶を受け、集会を開始しました。

特区連吉川委員長、東京清掃中里副委員長よりそれぞれ、情勢報告と闘いのヤマ場に向けて更なる結集を求め、挨拶をいただきました。

2月8日、退職手当引下げ反対・制度改悪阻止特区連第5ブロック・東京清掃第五地連決起集会を江東区文化センターで開催、362名の仲間が結集しました。両組織全組合員の総力で闘う決意を確認し、初の試みとなった協同闘争を成功裏に終了しました。15日の実力行使を背景に、職場から交渉を後押しし、闘争勝利まで闘い抜きましょう。

局長(江東区職労)も行いました。要請団は、特区連各区職労の委員長・書記長、東京清掃は第五地連三役及び各区代表の総勢20名の構成です。

要請書を菊地議長から読み上げ、手交し、両組織議長から口頭で組合員の切実な声を訴えました。星野議長からは、「調整額ポイントを利用した格差拡大を許さないこと。調整額全体では大きな削減となるが、清掃事務所全体の職務・職責、貢献度はまったく低下しておらず極めて不当であること。退職前20年間の貢献度をきちんと反映させるためには技

能系の任用資格基準を改善する必要があること、等を力強く要請し、当局に対する我われの怒りを認識させることができました。

集会の決意表明は、江戸川区職労伊藤委員長、清掃からは小菅江東支部委員長が行いました。小菅委員長からは、退職手当引下げ阻止はもちろん、新規採用を数多く勝ち取っている立場から若年層賃金の引上げの必要性についても発言をし、秋の確定闘争にむけて闘いを強化する決意を表明しました。

「退職手当引下げ・制度改悪反対闘争を特区連第5ブロック・東

京清掃第五地連全組合員の総力で闘い抜く決意(案)」を第五地連斉藤副議長から提案し、満場一致で採択されました。江東区職労正木青年部長の力強いリードでシュプレヒコールを三唱し、星野議長の力強い団結頑張りうで閉会となりました。

ブロックでの協同要請・決起集会ははじめての取り組みとなりましたが、当局に与えたインパクトは極めて大きいものとなりました。闘いは最終盤に突入しましたが、不当な削減提案を跳ね返すため、地連・支部から声をあげ、最後の最後まで闘い抜きましょう。

要請行動には地連三役と各区・一組代表が出席



▲ 第五地連は動員指令数を超える仲間が結集した



▲ 要請行動には地連三役と各区・一組代表が出席